

佐世保市立木風小学校

〒857-1166

佐世保市木風町180番地

校長 山村 和也

児童数 208名（12学級）

（令和5年5月1日現在）



学校教育目標

『大きな夢を持ち、自ら学び、心身を鍛える子どもの育成』

『地域を愛し、みんなのために、進んで行動する子どもの育成』

1 テーマ

**『自分を大切に 相手を大切に 地域を大切に』する子の
育成をめざして**

～地域の「もの・ひと」「こと」を生かした教育活動の充実と学力向上～

2 目的

個に応じた学力向上への取り組みと、豊かな体験活動を生かした心の教育を通して学校教育目標の具現化を図るため

3 実践内容

（1）学力向上

① 学力テストの分析と基礎学力の定着を図る授業改善

- 学力向上を本校の課題と捉え、主体的に学習に取り組む態度を高めることができるよう、教科の基礎基本の定着を図り、授業改善および学習のための環境整備に取り組んだ。4月の学力テストの結果を受け、児童の学力における課題点を考察し、解決のための手立てを構築し、各学年において実践を行ってきた。そして、12月には3、4、5、6年生に対して、国語と算数の学力調査を行い、課題となっていた児童の学力がこれまでの手立てによってどのように改善されたかを検証することができた。

その結果、課題となっていた読解力が国語と算数ともに大きく改善されたことが分かった。一方、考えを記述することや条件に応じ書くといった力が課題として浮き彫りになった。そこで、4月当初から取り組むべき授業改善のポイントとして、職員で共有化し、共通実践を行っていく方向性を決定することができた。

② 教育機器の活用による授業力の向上

- ICTの利活用による授業づくりについては、個別最適な学びを保証しつつ、ほかの友達と協働的な学びを進める授業改善に全職員で取り組んできた。Figjam研修では、教育用思考ツールについての理解を深め、どのように活用していけばよいか、指導の構想を深めることができた。
- USBの購入により、職員にも、授業のための資料収集、提示教材としてまとめたファイル及び授業検証のための児童作品物等のデータ管理ができるようになった。
- 担任全員分にHDMIケーブルを提供したことにより、児童は、自分のタブレットに作成した考えなどを、すぐさま大型画面で投影し、クラス全員で共有化して、考えをより深められるようになったことが良かった。



③ 読書活動の充実

- 今年度の図書の貸出し冊数は昨年の21,987冊に比べ、大幅に増え、30,086冊となった。これは、1年間に一人平均145冊を借りたことに相当する。新しい書籍の計画的購入および、学校司書や読書ボランティアによる環境整備や読み聞かせ、さらに、校長による100冊以上借りた児童に対する表彰（可視化）など、様々な取組みの成果であった。



(2) 地域の「もの」「人」「こと」を生かした教育活動の充実

① ボランティアに感謝する会

- 今年度も、地域の見守りボランティアに対し、感謝の気持ちを込めて感謝状を渡す取組みを行った。今年は数年ぶりにボランティアの方々を本校に招待し、体育館にて全校児童が感謝状を渡すことができた。ボランティアの方々のお名前や願いを直に聞くことで、よりつながりが強くなった。



② 1・2年木風小フェスティバル（11月）

- 1, 2年生で実施した秋の遠足で、保護者の方々と集めてきた木の実や落ち葉などを活用して、グループごとに思い思いの店を出し、楽しいお祭りを開催することができた。
たくさんの保護者の協力と来場で、大変盛り上がった。



③ 1・2年「ふれあい遠足」(11月)

- 秋の自然に親しむことを目標とした学習活動の一環として実施した。目的地は、烏帽子岳高原リゾート スポーツの里として、保護者と一緒に徒歩で登山した。途中からは山道で、急な上りや狭い道もあったが、全員が無事に行き帰りとも歩き通すことができた。目的地では、1・2年生は、どんぐりや松ぼっくりなどを拾い集めた。

また、広場の方では、親子でお弁当を食べたり、鬼ごっこをしたりしながら、楽しいひと時を過ごした。



④ 4年「環境・福祉とつながろう」(9月)

- 4年生では、佐世保市エコプラザの協力をいただき、1月にエコドライブ授業を行った。また、疑似体験では、日常の生活では過ごしにくいことが多くあることに気づき、そのために自分たちにできることは何か考えることもできた。



⑤ 3年「地域の方と仲良くなろう」(12月、2月)

- 地域学校協働活動推進員の協力により、地域の高齢者とふれあう機会を作っていたいただいた。地域の公民館でふれあい会を2回開催し、お年寄りの方の立場で考えたゲームで楽しんだり、認知症「ものわすれの病気」について学習をしたりする活動を通して、相手を労わる気持ちや尊敬の念が育った。



⑥ 6年「職場体験」(11月)

- 6年生の総合的な学習の時間では、キャリア教育の一環として職場体験を行った。地域の精肉店、パン屋さん、お寺、幼稚園、車販売店、生花店などの協力により、児童は自分の将来の夢に近づくための追究活動を行うことができた。初日、お客さんに対して挨拶もできなかった児童が2日目には進んであいさつを行うなど、座学ではできない貴重な学びができた。



⑦ 1～5年生「縦割り花植え」生活科・総合学習 (12月)

- 6年生に感謝の気持ちを送るために5年生以下の児童でパンジーの花植えを行った。5年生がリーダーとなって縦割り班に別れ、3月の卒業式に飾ることができるようにと全員が協力して植えることができた。在校生から6年生に心を込めた贈りものである。

卒業式にも色とりどりの花を添えることができた。

